

## 会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

## 1 市政運営について

- (1) 中長期的に持続可能な行財政運営に努めるため、健全財政の堅持は必至である。災害に強い国土強靱化に向けたまちづくりを目指すため、また、市民の豊かな暮らしを取り戻すため、今後の財政運営について市長の考えを示されたい。
- (2) 本市のICT利活用によるスマート自治体の推進は重要施策である。コロナ禍において、人との接触機会が低減を余儀なくされる中、市長公約の「もっと身近な、もっと熱い、もっと分かり易い市政」による、スマート自治体の未来像をどのように考えているか示されたい。
- (3) 財源確保の取組として、クラウドファンディング型ふるさと納税や、企業版ふるさと納税などの事業取組が示された。自治体間競争が激化する中、市民や各種団体など官民連携は大切であると考えます。各プロジェクトの目標達成に向けてどのような取組を行うのか。  
また、今後のプロジェクトはどのように計画しているのか示されたい。

## 2 コロナ禍による影響と今後の対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の現状について、市長の認識を示されたい。
- (2) 新型コロナウイルス感染症による本市の保健福祉行政の体制整備について
  - ① 新型コロナウイルスワクチン接種推進計画について、今後の取組を示されたい。
  - ② 感染防止対策として、市内医療機関における自費診療のPCR検査助成事業の取組において、医療現場での3密を回避するための対策支援及び医療機関と連携した周知をどのように行うのか示されたい。
  - ③ 本市には世界で活躍しているスポーツ選手や事業家などが多数在籍している。今後は陰性証明書などの提出を求められることが予想されるが、その費用の負担軽減などの考えはないか。
  - ④ 本市において新型コロナウイルス感染者が100名以上確認されている。医療従事者や濃厚接触者、退院又は治療解除となった方からの風評被害などによる、コロナハラスメントの相談及び相談窓口の体制や、周知について示されたい。

## 会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

- (3) 新型コロナウイルス感染症による事業者への経済対策について
- ① 経済対策として地方創生臨時交付金等を活用した、本市独自の支援対策の実績について示されたい。
  - ② 本市においてコロナ関連による、廃業及び倒産件数並びに産業別の景気動向を示されたい。
  - ③ 本市においてコロナ影響による、解雇者数及びその事業者数並びに就職内定率の状況について示されたい。
  - ④ コロナ禍の中、これまで商工会議所や商工会との連携により、事業を構築されてきたと認識するが、団体に加盟していない地元企業や個人事業者のニーズをどのように引き出し、施策に反映させてきたのか。  
また、今後企業が存続するための持続可能な支援策を示されたい。
  - ⑤ 新型コロナウイルス感染症を克服し経済活動の円滑化を図るために、従来の発想に捉われない視点や、市民に集積されている知を活用した、事業アイデアを広く市民に公募する考えはないか。

## 3 商工振興について

- (1) 令和3年度の基本施策に、商工業振興と雇用促進事業の施策として、企業誘致や人材確保などの取組が示された。一方、本市の経済を支える地元中小企業や事業者等への具体的施策が見えず、希望が持てない状況にある。昨年よりも魅力ある新たな企画など、中小企業の稼ぐ力を引き出すような施策の計画はないか示されたい。

## 4 農業政策について

- (1) 食料の安定供給や農畜産業の振興を図るため、高病原性鳥インフルエンザや豚熱・アフリカ豚熱の伝染性疾病や、サツマイモ基腐病などの病害虫の侵入防止策を万全にするとともに、迅速なまん延防止措置を講じる必要がある。これまでの取組と課題について示されたい。  
また、持続可能な農業生産を支える今後の対策について示されたい。
- (2) 当初予算編成における策定の背景と意義について、これまでの施策との違いや新たな特徴、重点施策構築の基本的な考え、また、その実現に向けた取組方針と期待される効果について示されたい。

## 会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

- (3) 地方創生の柱として位置付けられている基幹産業の農林水産業の振興について、本市は平成27年に「農業・農村戦略ビジョン」を策定し、一定の成果と評価を得ている状況である。今後、コロナ禍でも揺るがない生産基盤と、持続性確保に向けた事業・雇用の創出や、コロナを契機とした需要変化への対応と流通の革新など、情勢変化等を踏まえ、力強い農業・儲かる農業を次の世代につなげるための新たな農業・農村戦略ビジョンを策定する考えはないか。

## 5 鹿屋市スポーツ関係施設再配置計画について

- (1) 女子プロソフトボールチームが発足し、輝北地域を拠点に本市の地域活性化の担い手として、現在百引多目的グラウンドを主に活動していると聞く。今後、本市はチームの活動拠点の施設整備が必要と思われるが考えを示されたい。
- (2) 西原健康運動公園テニスの改修計画見直しとして、野里運動広場周辺へのテニス場整備計画が示されたが、鹿屋市スポーツ関係施設再配置計画の方針から逸脱してきていると思われる。野里運動広場周辺への整備計画に至った経緯及び理由について示されたい。
- また、再配置計画の方針に沿った、施設整備を進めるべきと思うが、どうか。

## 6 教育行政について

- (1) 鹿屋市第3期教育振興基本計画において、第2期教育大綱に基づいて基本理念・基本目標を掲げ、今後5年間に取り組む施策として9つの方向性、38の施策に取り組んでいる。本市の教育環境も、国・県の動向や社会情勢の変化に、早急かつ柔軟な対応と取組が要求される。計画実現に向けて、現状と今後予測される重要課題及び展望を示されたい。